

なりたい自分に向かって

令和4年度 鶴甲小学校

始めよう！ **じぶん学習(自主学習)**

なりたい自分 になるために「自分からはじまる」学習を

こんな学習をすることで…

自分がやりたい

自分が知りたい

学習

自分のためになる

自分に必要な

自分を伸ばす

分かって嬉しい

できる事が
増える

明日の
授業で
活躍できる



人の役に
立てる

苦手が
なくなる

将来の夢に近づく

今までの宿題のあり方を見直します

今の子供たちが生きていく未来では、仮想空間と現実空間が高度に融合し、これまでには出来なかった新たな価値が産業や社会にもたらされると言われています。(society5.0と呼ばれます。)

そのような予測困難な時代を よりよく生きるためには、「生きて働く知識や技能」に加えて、「**未知の状況にも対応できる思考力**」や、「**学びを人生や社会に生かそうとする主体性**」などが より重要になります。

神戸市では、それらの力を育成する「**主体的・対話的で深い学び**」のある授業を目指し、日々研修に取り組んでいます。そして、学校での授業、おうちでの家庭学習、この2つを軸として子供たちの学力を高めていきたいと考えています。

家庭学習では、教師から言われた「宿題」をするだけでなく、学校の授業で学んだことの復習をしたり、明日の授業に向けて予習をしたりして、子供が自分自身を見つめながら主体的に学習に取り組む力を育むことが大切だと考えます。つまり、与えられる受け身の学習ではなく、自分自身の力で進める主体的な学習へと変えていきたいということです。そして、自分自身で学びを進める力や自分なりの学び方を身に付けてほしいと考えています。そうすることで、家庭学習がノルマではなく、「**自分にとって意味のある学び**」へ変化すると考えます。

そこで、今年度から鶴甲小学校では、どの学年でも「**じぶん学習(自主学習)**」を実施していきます。(1年生では、時期を見て行います。)従来の宿題+じぶん学習という形ではなく、負担が大きくなるように量や時間を考え、子供たちの学力や探究心が伸びることを大切にして、柔軟に宿題を出していきたいと考えています。また、従来の宿題であっても、「**なんのためにするのか?**」の目的意識を明確にした宿題にしていきます。

そのために、ぜひ保護者の皆様の力をお貸しください。学校と共に手を取り合い、子供の「**主体的な学び**」を支え、「**未来を切り拓く力**」を育てていきたいと思えます。

授業

主体的な
家庭学習



低・中・高学年のそれぞれの発達段階で大切にしたいこと



低学年では、国語と算数を中心に「読み・書き・計算」等の基本的な学力の定着を大切にします。鉛筆を正しく持つ、よい姿勢で学習する、宿題は毎日忘れずに最後までする等、学習習慣を身に付けることに重点をおいて取り組みます。学習習慣をしっかりと身に付けることでこれからの学校生活を安心して送ることができます。たくさんの褒め言葉で、意欲的な姿が続くような支援をしていきます。

中学年になると、社会や理科の学習が始まります。国語や算数の内容も難しくなり、苦手意識も出始める頃です。できる事が増え、それに伴い好奇心も旺盛になってきます。「自分でできる。」こうした言葉を信じて見守りつつ、教師や保護者の目で確認し「本当だ、さすがだね。」と褒めて伸ばすことや時には苦手な部分に目を向けて取り組ませるなどの支援をしていくことが大切です。教師側から与えられる宿題をこなす意識ではなく、自分で必要な学習を、自分の進めたい方法で行うことができるように支援していきます。

高学年は、思春期に入り自分と友達を比べたり、他者からの評価が気になったりする年頃です。おうちの方の声かけに対しても反抗的な態度をとることがあるかもしれません。手を離して心を離さず見守っていただければと思います。授業では問題解決的な学習が多くなります。中学年までに育んだ基礎的な学習を生かし、自主性を発揮する「自学」への変化の時期です。自ら学ぶことの面白さや価値を感じられるように支援していきます。

ご家庭におかれましても、早寝・早起き・朝ごはん等の規則正しい生活習慣や毎日の学習習慣が身に付くよう、ご協力をお願いいたします。

保護者の方の応援や励ましの声、プラスの言葉かけが、子供達にとって、何よりのエネルギーです。



保護者の支えや見守りが 子供の力を伸ばします

● 約束ごとを決め、環境を整える。

約束を守って
楽しもうね。



- ◆ TVやゲーム、スマホ等は時間を決めて
- ◆ 学習中はTVや音楽を消し、スマホ等をさわらない（できれば保護者も）

● 一緒に学習する。見守る。確認して声をかける。



へえ～！
おもしろいね。

- ◆ 子供の学習を大人が楽しむ
- ◆ 大人の関心が 子供の励みに

● がんばりや工夫を認める。

- ◆ 粘り強さ、自分で考える力を伸ばす



自分で やる内容を
考えたんだね！

「才能」ではなく「努力や工夫」を大切にする関わりで、失敗に負けない、前向きな心が育ちます。

キャロル・S・ドウエック 「マインドセット『やればできる!』の研究」より



「じぶん学習(自主学习)」って、どんな学習？

「じぶん学習」とは、「自分で目的を考えて 方法を工夫する学習」です。

目的を考えて

自分が知りたいこと、やりたいこと、必要なこと など

授業で学習した「生き物」のこと、もっとくわしくなりたいな。

苦手な漢字を覚えるためには…。

もうすぐ社会のテストがあるから…。

今日の算数の説明があまり分からなかったな…。



方法を工夫する

どのような方法で学習すれば自分の力が伸びるかな？

パソコンで調べてまとめたら、くわしくなれるな。

漢字をたくさん書くのがいいかな。文を作ってみるのがいいかな。熟語を調べてもいいな。

教科書を写すより、自分の言葉で書く方が私には合っているな。…そうだ！次は友達に説明するつもりで書いてみよう。



「じぶん学習(自主学习)」って、どうやるの？

● はじめに「今日のめあて」を確認しよう

わり算が得意になれるように、自分で問題を作って 解いてみよう。

今日のテストで間違えた問題をもう一度解いて、しっかり理解しよう。

内容は「授業」をきっかけに考えよう！



一つ上の学年の漢字に挑戦しよう。

明日、磁石の授業があるから、身の回りで磁石を使っているものを探して、まとめてみよう。

学校で学習した点字のことが、もっと知りたくなったから、インターネットで調べてみよう。

● 最後に「振り返り」をしよう

自分で問題を作ると、わり算のことがよく分かったよ。次はタブレットドリルの問題にもチャレンジしよう。

テストの間違い直しをしたら、自信がついたよ。こんな学習が僕には合っているのかな。

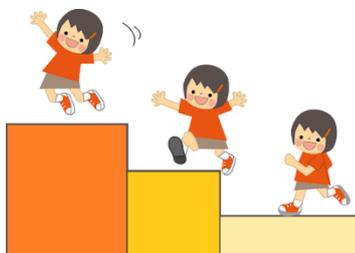


まだまだ覚えていないから明日もしよう。

磁石は、色々なところで利用されているんだなあ。明日の授業が楽しみだな。

インターネットで調べるのって、難しいな。調べ方のコツが知りたいな…。

● 計画的に 時間を決めて 家庭学習をしよう (テレビや音楽は消して)



1日10分以上 (1年生)



1日60分以上 (6年生)

- 「10分 × 学年」の時間以上が“めやす”です
- 学習時間を記録しておくのも おすすめです



例えば こんな学習

「自分がやりたい」「自分を伸ばす」学習が見つかるかな？

国語

- ことわざ、慣用句、四字熟語集め
- ひらがな・カタカナ・漢字の練習
- 読書 → 読書記録を書く。
- 辞書を使った言葉調べ
- 詩・作文づくり
- 調べたことをまとめる。(図鑑・辞典・インターネットなどで調べる、新聞・報告書・リーフレットなどにまとめる。)

算数

- 計算修行(問題にとことん取り組む。)
- 問題作り(作った問題を解いてもらおう。)
- 算数の解き方解説(授業で習った問題をもう1度説明してみる。)
- デジタルドリルにチャレンジ!!
- 図形で絵や模様をかこう。(かき方や用具の使い方を考えよう。)

社会・理科

- 調べる・覚えるクイズをつくろう(地図記号)
- 社会科調べ学習(都道府県・歴史人物)
- ツアーガイドブック作り・旅行記
- 昆虫や植物などを探そう、育てよう。
- 問題や、新しい疑問を自分で調べよう。(本、インターネット、誰かに聞く、実験)

音楽・図工

- 楽器演奏をして、上手になるコツをつかもう。(リコーダー・けん盤ハーモニカ)
- 音楽づくり(リズムづくり)に挑戦しよう。
- 授業で習った曲についてインターネットなどで聴き深めよう。
- 家にある物で好きな形を作ってみよう。
- 自分の好きな物を絵で表そう。

その他にも・・・

- 自分にできる仕事(お手伝い)を続けて、名人になろう。 ○生き物や植物の観察日記を書こう。
- 手縫いやミシンでお気に入りの小物を作ってみよう。 ○ローマ字を覚えよう
- 今している体育の授業について調べよう。 ○外国のことを調べよう。

自分の可能性を広げるために、色々な学習に取り組もう

※色々なじぶん学習(自主学習)に取り組むことができますが、基本的にノートに学習の足跡を残すようにします。詳しくは、学年ごとに説明を行っていきます。